

日頃の成果をたっぷりと披露



オープニングは舞踊



「男の夜明け」を力強い歌声で熱唱



キラキラ衣装で大山寺へ

10月20日から11月5日まで「大山紅葉まつり」が開かれました。秋晴れの10月29日(日)には、稚児行列(表紙写真)、法要、大山僧兵太鼓の奉納などが大山寺で行われ多くの観光客でにぎわいました。

稚児行列には町内外から参加申し込みのあった、3歳から5歳の子どもたち48人が参加。大山寺御幸参道をきらびやかな衣装で歩き、観光客の目を楽しませました。

大山町公民館カラオケサークル(中山・名和・大山)のみなさんによる「第1回大山町歌謡発表会」が、11月19日に保健福祉センターだいで開かれました。サークルメンバーの56人が得意の一曲を披露。会場に集まった約300人の観客を楽しませました。

呉市でグルメ交流会

友好都市提携を結んでいる呉市で開かれた旧軍港4市&中国地域グルメ交流会に、大山町から「中山そば打ち同好会」と「神田リンゴ生産組合」が参加し、大山町を広く紹介しました。旧軍港があつた横須賀市、舞鶴市、佐世保市、そして呉市は、持ち回りでイベントを開いています。今回、呉市が4年に一度の開

催地になり、毎年行う「食の祭典」と併せて、中国地域グルメ交流会が開かれました。好天に恵まれた11月12日(日)会場はたくさんの市民で賑わい、こちらが用意したプロッコリーそば、神田のリンゴ、陣構のお茶は大好評で、昼過ぎには売切れてしまいました。



そばの前に行列ができました



元気に泳ぎだすカジカの子魚

甲川にカジカを放流

中山町観光協会が10月21日(土)カジカの放流を甲川で行いました。

カジカはザッコとも呼ばれ、昔からたいへんなじみのある魚ですが、最近では川で泳ぐ姿を見ることが少なくなっていました。清流に住むカジカは、川の環境のバロメーター的な存在です。

中山町観光協会はカジカの泳ぐ甲川を取り戻そうと、平成

15年からこの活動を行っています。

この日は2700匹のカジカが甲川上流の冷たいきれいな水に放されました。はじめは少し驚いたようでしたが、しばらくすると元気に泳いでいきました。

カジカがいつまでも泳ぐことのできる甲川を、町民みんなの力で守っていきましょう。